

大人の文化祭

作品募集中

作品をお寄せください
詩 俳句 短歌 川柳
エッセイ (1,000文字以内)
写真 イラスト 絵・・・
※未発表作品にかぎります

読んだ人、見た人がほっと
リラックスでき、
元気になるような
作品をお待ちしております。

作品はデータをメールで
お送りください
詩 俳句 短歌 川柳に
つきましては ハガキ、封書、
FAXでも受付けます
不明な点は編集部まで
お問合せください
応募者多数の場合は審査させて
いただくこともあります
(掲載の可否を事前にお知らせ
することはできません)



【プーチン】

「うさぎ雛」
ちりめん生地で作りました。



【渡邊 誠】

切り絵：冬の津軽富士「岩木山」

一枝を 活けて白梅 かほりたつ

天に向かひて 命はぐくみ

【阿部澄江】

雪の朝 万両の実の つややかに

初春の心 紅梅白梅 笑ってる

【春沼けい子】

つなぐ手に 愛より先に 静電気

【ポテトサラダ】

ひふみんの CMながめ 歯科急ぐ

【南 雅子】

宮戸島 一足早く 椿咲く

渡り鳥 何処から来たか 羽休め

木枯らしは 垣根「どうだん」 染めてゆき

懐かしい 川崎大師 きな粉餅

初雪は 野山に墨絵 描きゆき

【宮戸☆お達者クラブの皆さん】

ブラジル通信 ～サンパウロから～

【杜ラディツシュ】

こちらは俳句、短歌、川柳が、とても盛んです。が、人数がだんだんと減ってきています（1世の方々が高齢になり、亡くなったり）。2世の方々が習っている方もいますが3世の方々はまだ若いので、仕事などで時間がとれず入会している方が知っている限りいません。また、日本に感心が無い人が多くなっていると思います。

2世、3世の方々はブラジル人と結婚している方が多く、純日本人（人種差別しているわけではありません）は、いなくなるのではないかな？と一人思っています。

ある家族と親しくなりわかったことがあります。祖父母夫婦は日本人で孫達はハーフでも美男、美女です。孫は3人ですが次男の孫だけが日本語を話します。お爺さんとお婆さんが大好きで日本のことを聞いて育ったと話していました。やはり家での会話が重要だと思いました。ブラジルで育った方達は学校や職場ではポルトガル語なので、日本語で会話の家庭が減っています。が、頑張つて孫達と日本語で会話して欲しいと思いました。ひいては自分の為になるのです。家庭で孤立しない（ポルトガル語がでず会話が無い）と思いますので、もちろんポルトガル語が少しでも出来れば言う事はないのですが、言葉だけでなく自分の祖父母、父母が日本の何処にいたかも解らない人もいます。少しは日本に感心を持ってもらいたいと思っています。

そんななかでも、俳句大会、川柳大会、短歌大会など盛大にやっています。私も川柳と短歌大会と呼ばれ笑ってききました。皆様をリラックスさせるためにちょっとした体操や笑いをやっています。

応募の際は、お名前 ご住所 お電話番号 年齢 を明記してください 誌上でのペンネーム使用可

応募宛先 <メール>info@riraku-sendai.co.jp <FAX>022-266-9418

<郵送>〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2-5-22 りらく編集部 りらく大人の文化祭 作品募集係

問合せは／ りらく編集部 TEL.022-723-5781 E-mail: info@riraku-sendai.co.jp